

国立病院機構 大阪医療センター リボンスハウスの活動紹介

- 開所時期 : 2009年12月14日
- スペース : 大阪府大阪市中央区法円坂 国立病院機構 大阪医療センター (11坪: 37㎡)
- オープン時間 : 月～金 10時～16時 (土日祝日休み)
- スタッフ : 常駐スタッフ2～3名 登録スタッフ人数25名 (ボランティア)
- 利用状況 : 2010年1月～2010年12月 来場者数9,652名 (毎月平均804名、20日稼働)
- 設置内容 : 医療図書・体験談、情報検索コーナー、映像視聴コーナー、オープンスペース、ビューティコーナー、ヘアウィッグ展示・試着コーナー、がん支えあい応援グッズコーナー



特長 患者情報室に「がんに特化したリボンスハウス」を併設し活動

※患者情報室：患者・家族がその疾病に関する情報を、本やインターネットで検索したり、更には体験談を聴いたりする部屋。

■具体的な活動

①地域の方向けイベント・セミナー開催

- ・当院での「がん医療」の紹介
- ・「笑いの効用について」講演と演芸&歌謡ショー
- ・ビューティケア 講演と実演



第2回支えあいの輪「～美と笑いの効用～」in 大阪
がん向き合い支えあいの輪を広げる

②リボンスハウス勉強会開催

がん患者さんや家族の方が、生活するうえで困っている治療の副作用や、がんの痛み、腕のむくみ、リラクゼーション方法、頭皮ケアなどの勉強会を毎月4回行っています。

◎がんサポートチーム主催：

- ・がんの痛み・緩和ケア
- ・リンパ浮腫の予防
- ・抗がん剤治療の種類
- ・リラクゼーション・栄養

◎スヴェンソン共催：

- ・頭皮ケア・化学療法に伴う頭髪のケア相談
- ・ウィッグの選び方講座・ウィッグ何でも相談



③その他（募金、PR活動）

募金活動として、応援グッズの販売、PR活動として、リーフレット・ニュースの配布、ビューティ通信案内等の活動をしています。



■院内体制

- ①リボズハウスは患者情報室と連携（併設）、リボズハウス訪問客に疾病に関する情報を、本やインターネットで検索したり、図書の貸し出し、体験談の閲覧など、情報提供や告知のお願いなどで連携している。
- ②当院がんサポートチームやスヴェンソンの専門カウンセラーと連携、がん治療の副作用やがんの痛み、頭皮ケアなどの勉強会で連携している。
- ③リボズハウスはボランティアにより運営、ボランティア運営委員会、ボランティア支援室と医療サービス向上委員会とも連携している。
- ④乳がん患者会と情報提供や告知のお願いなどで連携している。